



新宿区 高齢者の保健と福祉に関する調査

報告書

概要版

本調査は、平成30年度を初年度とする「新宿区高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(平成30年度～32年度)」の策定にあたり、区民の健康や日ごろの生活状態、介護保険サービスの利用状況や利用意向、及びケアマネジャー・介護保険サービス事業所・施設等の実態を把握し、計画策定のための基礎資料とするものです。

平成29年3月

【調査の概要】

- 調査方法：郵送によるアンケート調査（区民向け4調査は、お礼兼督促ハガキの発送1回）
- 調査期間：平成28年11月18日（金）～平成28年12月9日（金）
- 調査の種類等：7種類の調査を実施しました。

調査名	調査対象	調査対象数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者 【基本】調査	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	3,000人	1,999人	66.6%
一般高齢者 【重点】調査		3,000人	2,003人	66.8%
要支援・要介護認定者調査	要支援・要介護認定を受けている65歳以上の高齢者（施設サービス利用者を除く）	1,500人	821人	54.7%
第2号被保険者調査	要支援・要介護認定を受けていない第2号被保険者（40～64歳）	1,500人	621人	41.4%
ケアマネジャー調査	区内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー	230人	131人	57.0%
介護保険サービス事業所調査	区内の介護保険サービス事業所	221所	149所	67.4%
施設等調査	区内の介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所、及び区と協定を締結している区外の介護老人福祉施設	57所	45所	78.9%

【概要版の見方】

- 図表中の「n」は回答者数で、比率（%）は、各選択肢の回答数を回答者総数で除したものです。小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%を超えることがあります。複数回答できる質問では、合計が100%にならない場合があります。
- 場合によって、語句を短縮・簡略化している箇所があります。
- 見出しの表記 区民向け調査（【基本】：一般高齢者【基本】調査、【重点】：一般高齢者【重点】調査、【認定者】：要支援・要介護認定者調査、【第2号】：第2号被保険者調査）、事業所向け調査（【ケアマネ】：ケアマネジャー調査、【事業所】：介護保険サービス事業所調査、【施設】：施設等調査）

現計画である高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(平成27年度～29年度)の重点的取組として「『地域の活力』を生かした高齢者を支えるしくみづくり」「認知症高齢者への支援体制の充実」「地域における在宅療養支援体制の充実」があげられています。本書(概要版)では、上記3つの視点から、調査結果を抽出し、整理しました。また、地域包括ケアの推進に向け、いくつかの特徴的な項目を掲載しています。

重点的取組①『地域の活力』を生かした高齢者を支えるしくみづくり

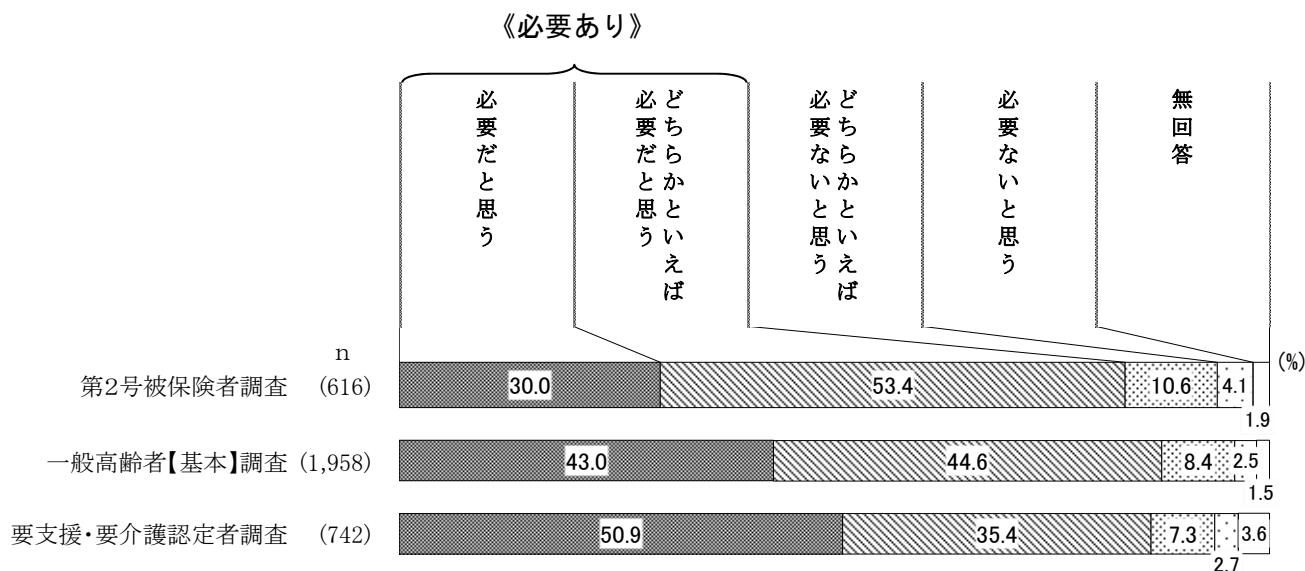
■区民向け調査結果■

<地域のつながりの必要性と実感>【基本】問29、【認定者】問15、【第2号】問16

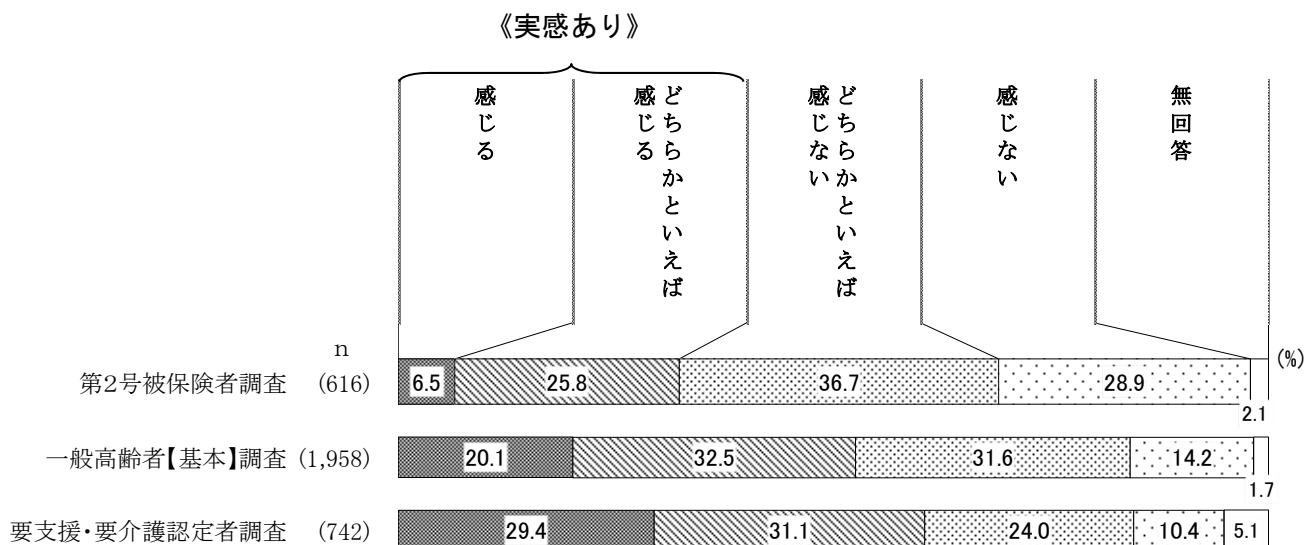
問 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)についておたずねします。

◆ 調査間比較：地域のつながりの必要性について、《必要だと思う》は、要支援・要介護認定者が50.9%で最も高い。実感について、要支援・要介護認定者が29.4%で最も高い

<図表 1> 地域のつながりの必要性



<図表 2> 地域のつながりの実感

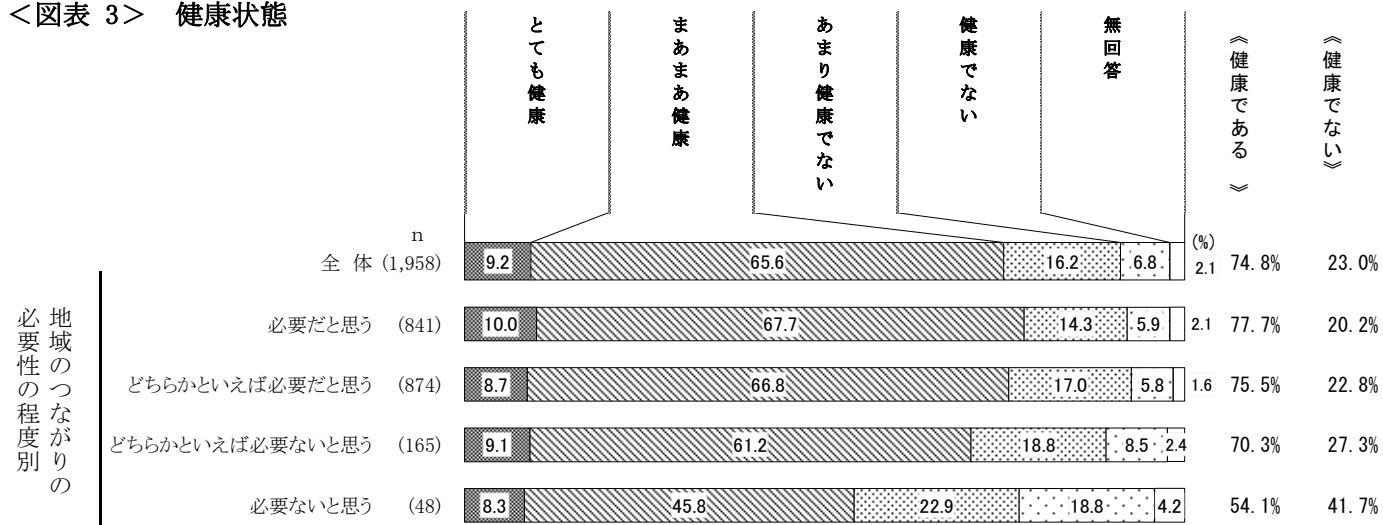


<健康状態> 【基本】問21、【第2号】問20

問 あなたは、健康だと思いますか。(1つに○)

◆ 地域のつながりの必要性の程度別でみると、必要性を感じている人ほど《健康である》割合が増加する傾向にある

<図表 3> 健康状態

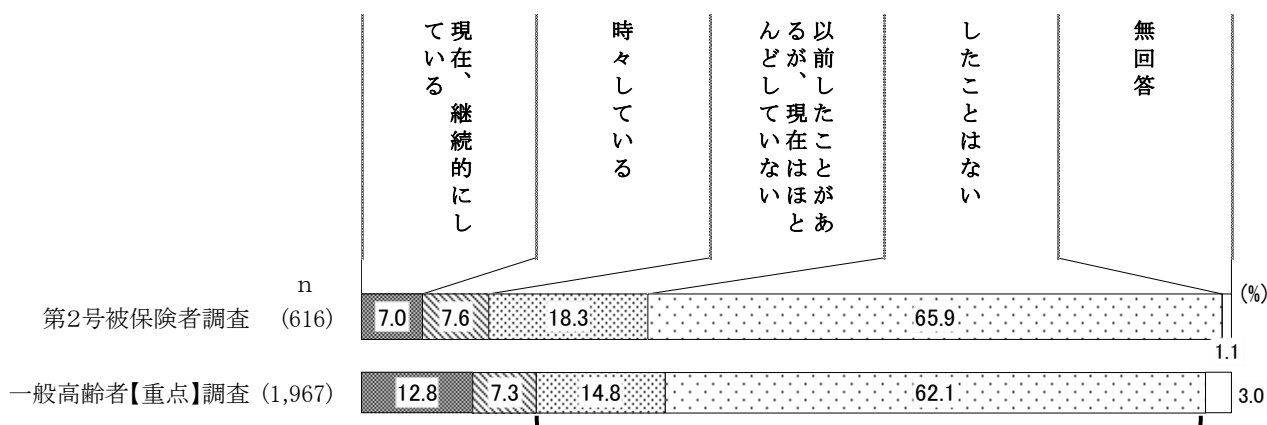


<地域活動やボランティア活動等の状況> 【重点】問 18、【第2号】問 17

問 あなたは、現在、地域活動（町会、自治会、子ども会など、以下同様）やボランティア活動等を行っていますか。(1つに○)

◆ 調査間比較：地域活動等の参加状況について、《現在、継続的にしている》は、一般高齢者のほうが5.8ポイント上回る状況

<図表 4> 地域活動やボランティア活動等の状況



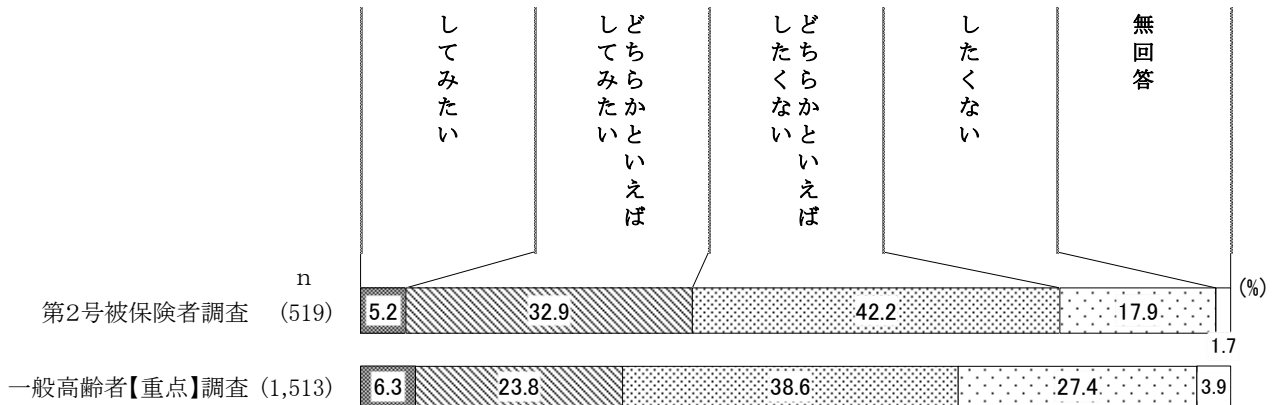
次ページ<今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向>に続く

<今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向> 【重点】問18-1、【第2号】問17-1

問 <<前問で「以前したことがあるが、現在はほとんどしていない」または「したことはない」を選んだ方のみお答えください>>
あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等をしてみたいですか。

◆ **調査間比較：地域活動等への参加意向について、《どちらかといえばしてみたい》は、第2号被保険者のほうが9.1ポイント上回る状況**

<図表 5> 今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向

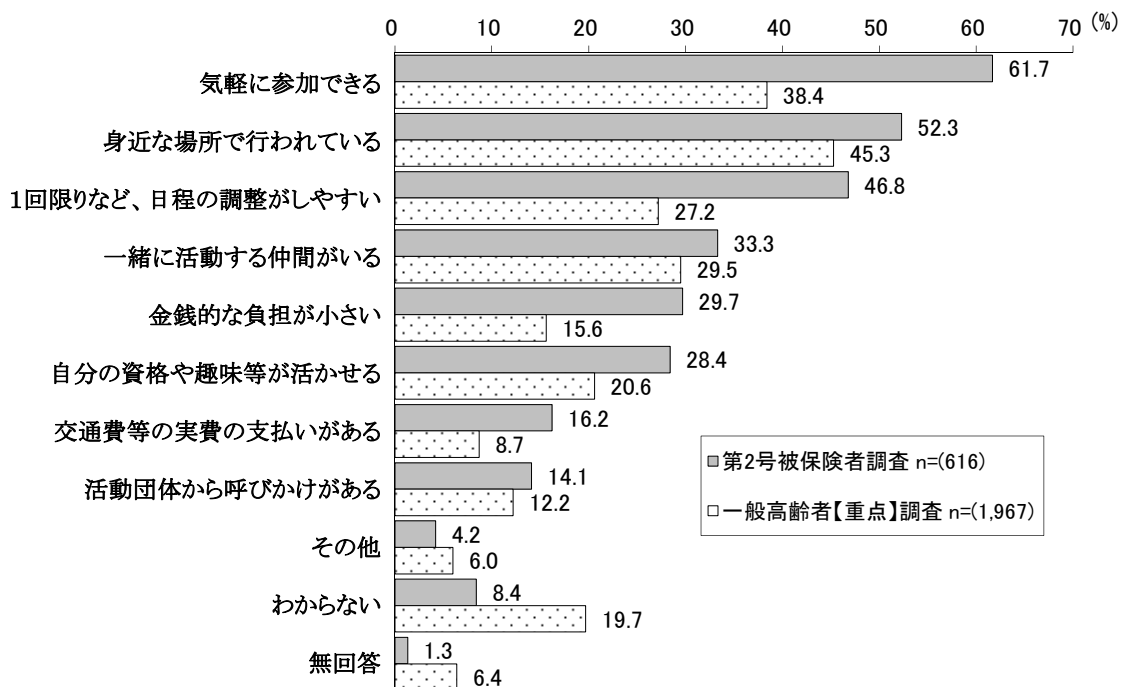


<地域活動やボランティア活動等に参加しやすい形> 【重点】問19、【第2号】問18

問 あなたはどのような形であれば、地域活動やボランティア活動等に参加しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ **調査間比較：参加しやすい形について、一般高齢者では《身近な場所で行われている》、第2号被保険者では《気軽に参加できる》がそれぞれ最も高い**

<図表 6> 地域活動やボランティア活動等に参加しやすい形（複数回答）

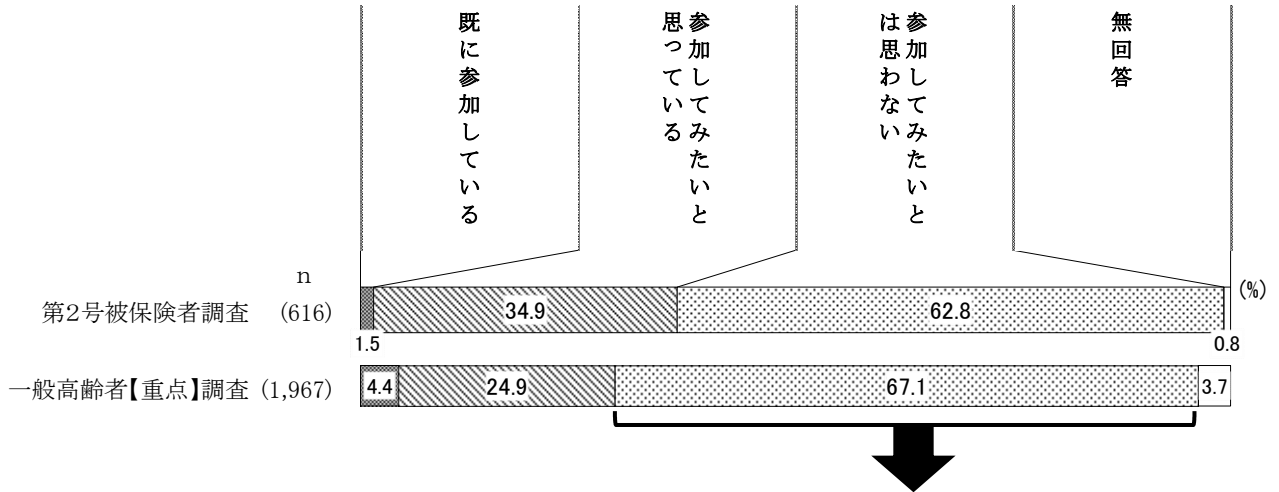


<高齢者の身の周りの世話や生活を支援する活動への参加意向> 【重点】問20、【第2号】問19

問 あなたは、支援を必要とする地域の高齢者の身の回りの世話（ごみ出しや買い物の付き添い、見守り等）や生活を支援するボランティア活動に機会があれば参加してみたいですか。
（1つに○）

◆ **調査間比較：活動への参加意向について、《参加してみたいと思っている》は第2号被保険者のほうが10.0ポイント上回る状況**

<図表 7> 高齢者の身の周りの世話や生活を支援する活動等への参加意向

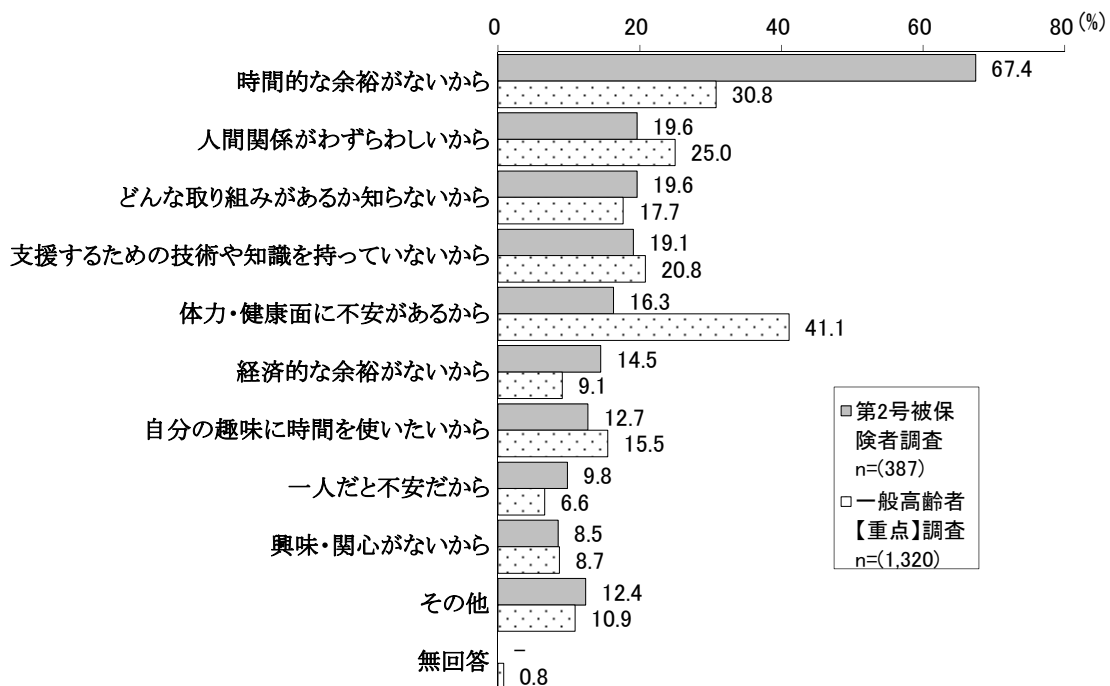


<高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由> 【重点】問20-1、【第2号】問19-1

《前問で「参加してみたいとは思わない」を選んだ方のみお答えください》
問 それはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

◆ **調査間比較：高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由について、《時間的な余裕がないから》は第2号被保険者のほうが36.6ポイント上回る状況**

<図表 8> 高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由

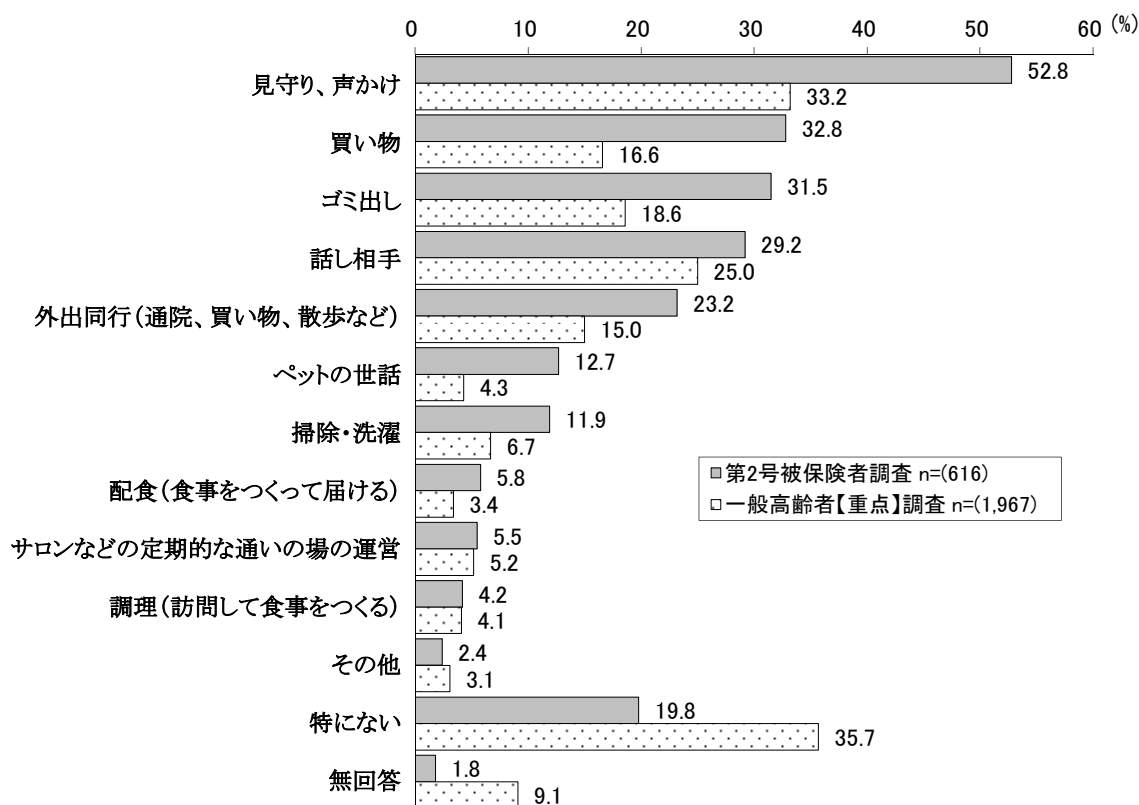


<自分が担うことができそうな支援・サービス> 【重点】問22、【第2号】問21

問 支援を必要とする地域の高齢者の身の周りの世話や生活を支援するボランティア活動として、あなたが担うことのできそうな支援・サービス(現在支援しているものを含む)はありますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 調査間比較：自身で担うことができそうな支援・サービス内容について、一般高齢者、第2号被保険者とも《見守り、声かけ》が最も高い

<図表 9> 自身で担うことができそうな支援・サービス (複数回答)

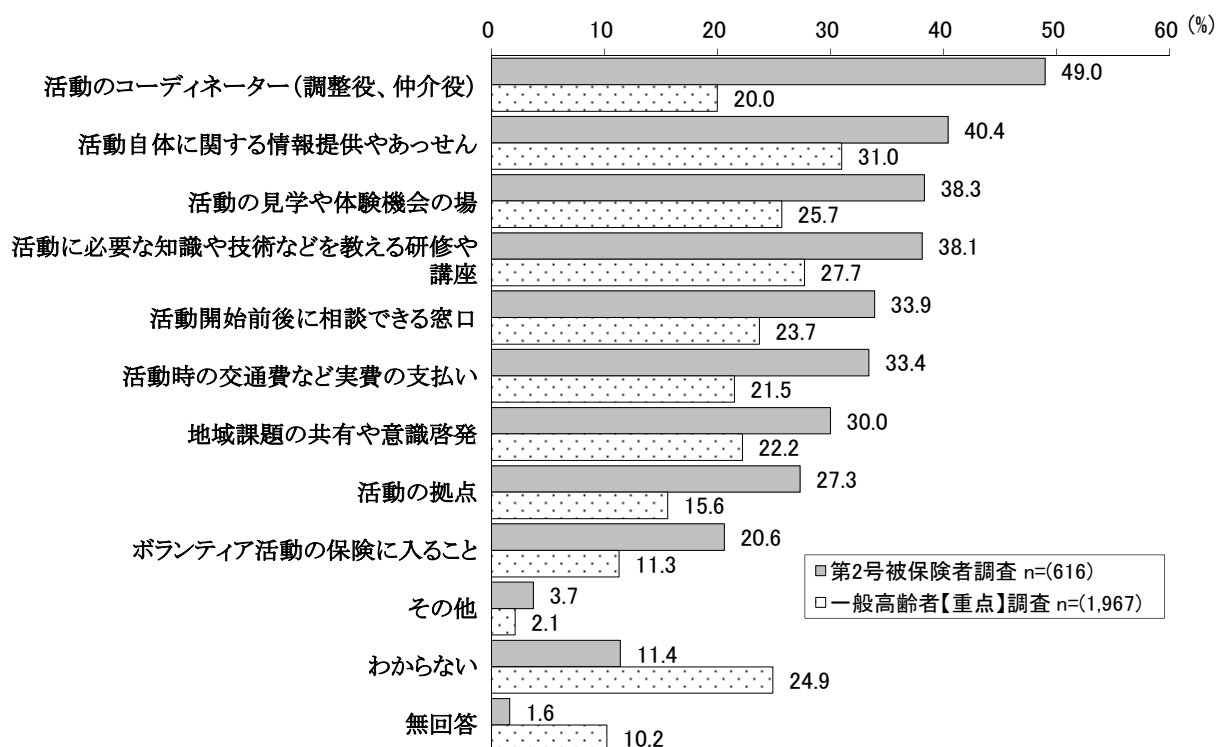


<ボランティア活動を増やしていくのに必要なサポート> 【重点】問23、【第2号】問22

問 あなたは、支援を必要とする高齢者の身の回りの世話や生活を支援するボランティア活動を増やしていくために、どのようなサポートが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

◆ **調査間比較：活動を増やしていくために必要なサポートについて、第2号被保険者では《活動のコーディネーター》、一般高齢者では《活動自体に関する情報提供やあっせん》がそれぞれ最も高い**

<図表 10> ボランティア活動を増やしていくのに必要なサポート（複数回答）



重点的取組②認知症高齢者への支援体制の充実

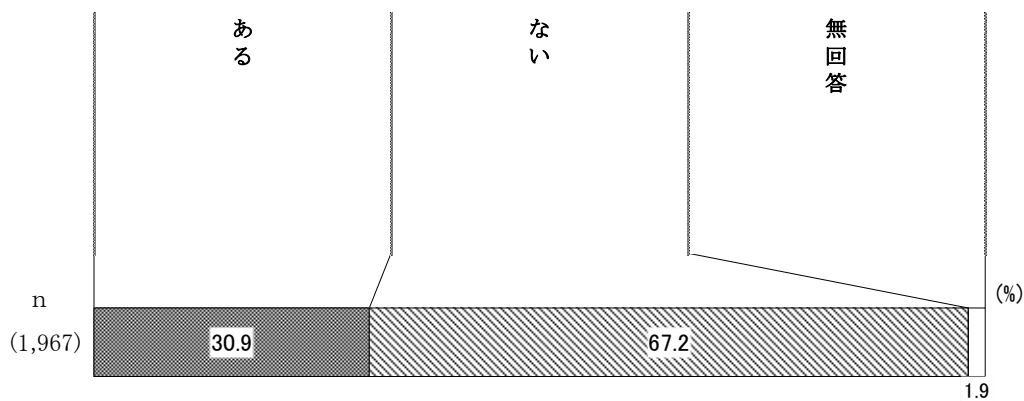
■区民向け調査結果■

＜この1年間のもの忘れ、理解・判断力の低下の状況＞【重点】問24

問 あなたは、この1年間に何度も、もの忘れに加えて、理解・判断力の低下などを感じたことがありますか。(1つに○)

◆ この1年間に何度も、もの忘れに加えて、理解・判断力の低下を感じたことが《ある》人は30.9%

＜図表 11＞ この1年間のもの忘れ、理解・判断力の低下の状況

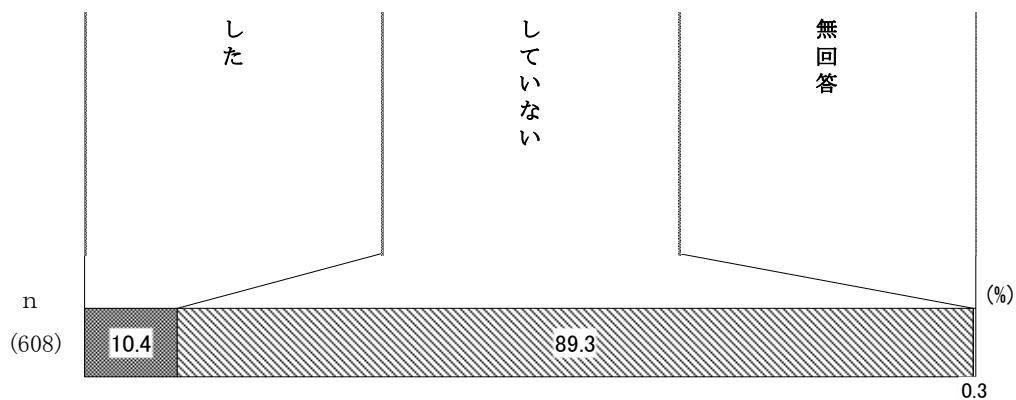


＜もの忘れや理解・判断力の低下についての相談の有無＞【重点】問24-1

問 ≪前問で「ある」を選んだ方のみお答えください≫
もの忘れや理解・判断力の低下などについて、どこかへ相談しましたか。(1つに○)

◆ もの忘れや理解・判断力の低下について、相談《した》人は10.4%

＜図表 12＞ もの忘れや理解・判断力の低下についての相談の有無

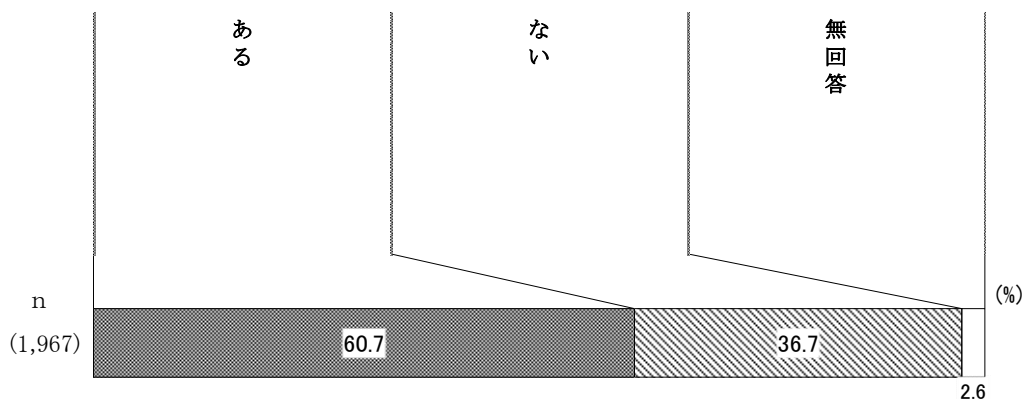


<自身や家族が認知症になったときのことについて考えたことの有無>【重点】問29

問 あなたは今までに、自身や家族等が認知症になったときのことについて、考えたことがありますか。(1つに○)

◆ 自身や家族等が認知症になったときのことについて考えたことが《ある》人は60.7%

<図表 13> 自身や家族が認知症になったときのことについて考えたことの有無

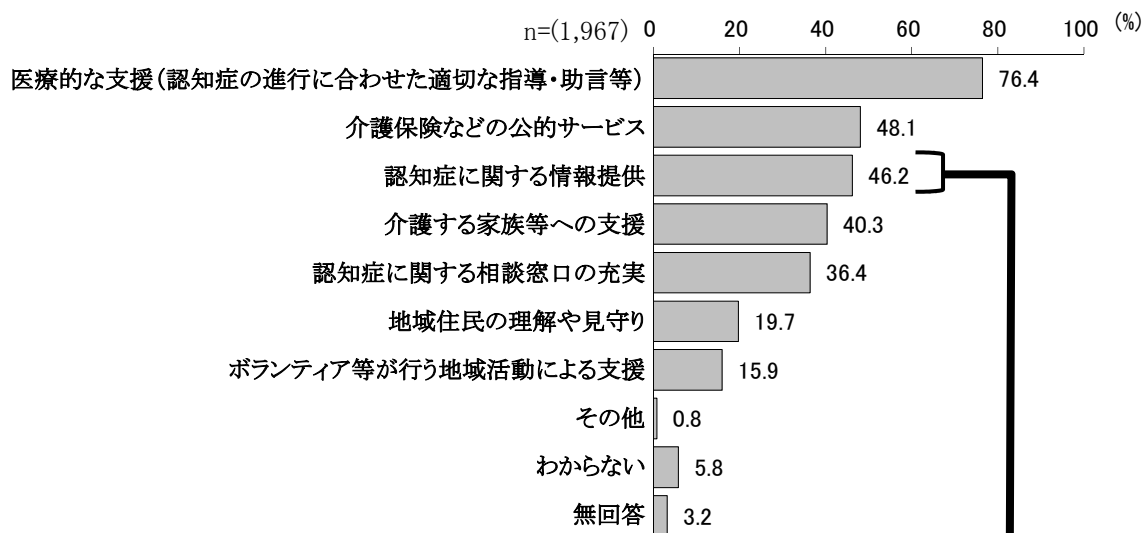


<認知症が早期発見された場合に必要な支援>【重点】問30

問 認知症が早期に発見された場合、進行を遅らせるなどの対応策があることがわかってきています。早期に発見された場合、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 早期発見時の必要な支援は、《医療的支援》が76.4%で最も高い

<図表 14> 認知症が早期に発見された場合、必要な支援 (複数回答)



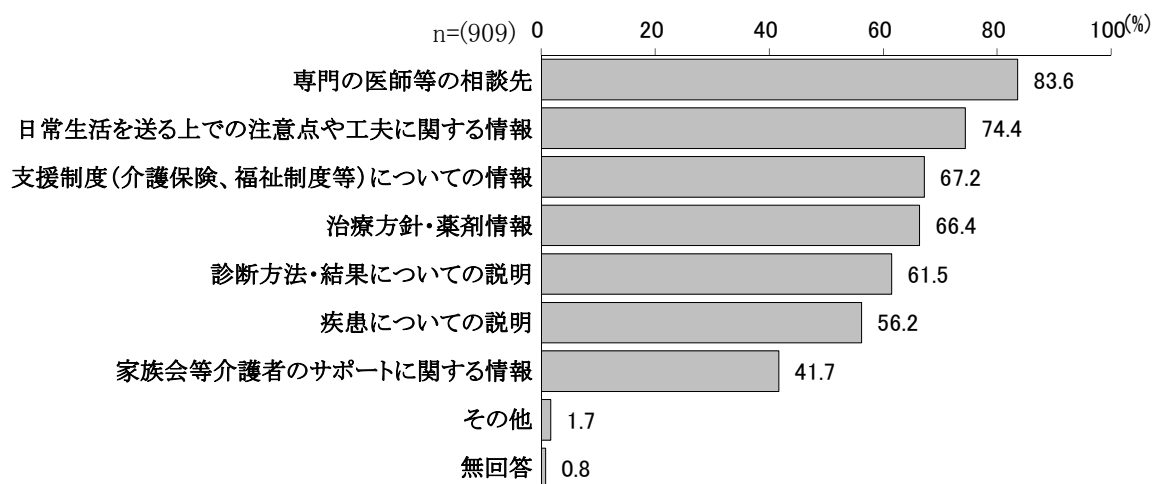
次ページ<認知症に関して必要な情報提供>に続く

<認知症に関して必要な情報提供> 【重点】問30-1

問 <<前問で「認知症に関する情報提供」を選んだ方のみお答えください>>
 どのような情報提供が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ **必要な情報提供の内容は、《専門の医師等の相談先》《日常生活を送る上での注意点や工夫に関する情報》《支援制度(介護保険、福祉制度等)についての情報》の順に高い**

<図表 15> 認知症に関して必要な情報提供 (複数回答)

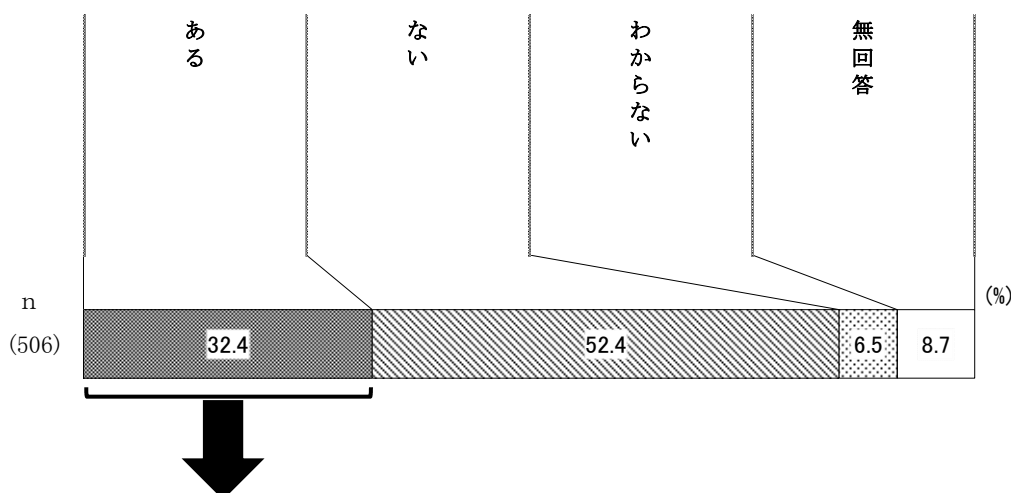


<認知症の症状の有無> 【認定者】問57

問 主な介護者が介護をしている方には、認知症の症状がありますか。(1つに○)

◆ **認知症の症状は、《ある》が32.4%**

<図表 16> 認知症の症状の有無



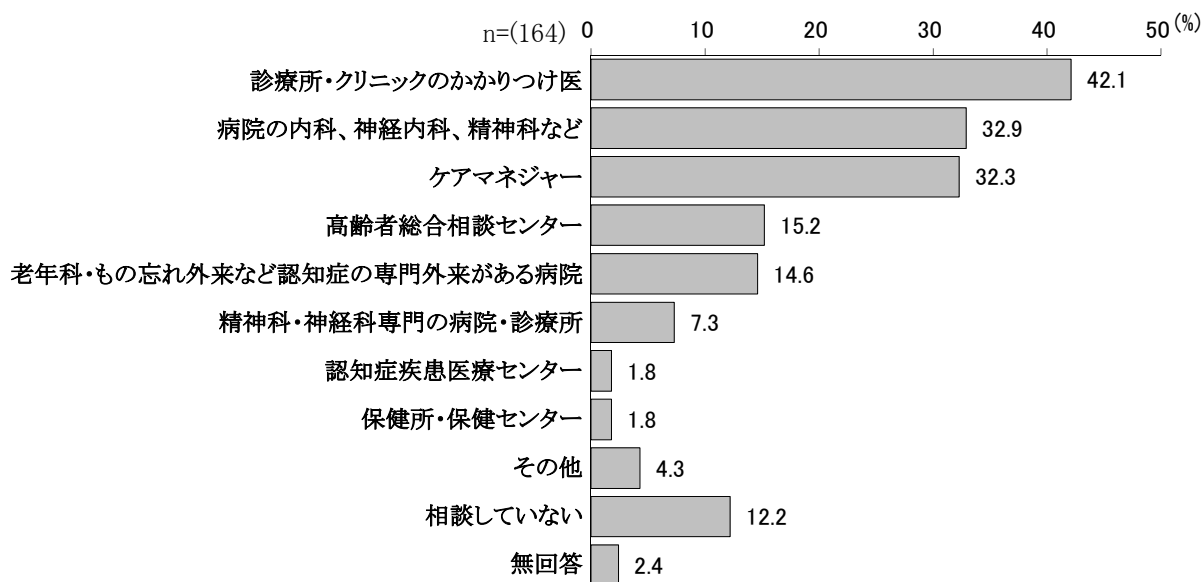
次ページ<認知症についての相談先>に続く

<認知症についての相談先>【認定者】問57-1

問 《主な介護者が介護をしている方で、認知症の症状が「ある」を選んだ方》
 主な介護者が、介護している方が認知症ではないかと気づいた、あるいは不安になったときに
 どちらに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

◆ **認知症の相談先は、《診療所・クリニックのかかりつけ医》が42.1%で最も高い**

<図表 17> 認知症についての相談先（複数回答）

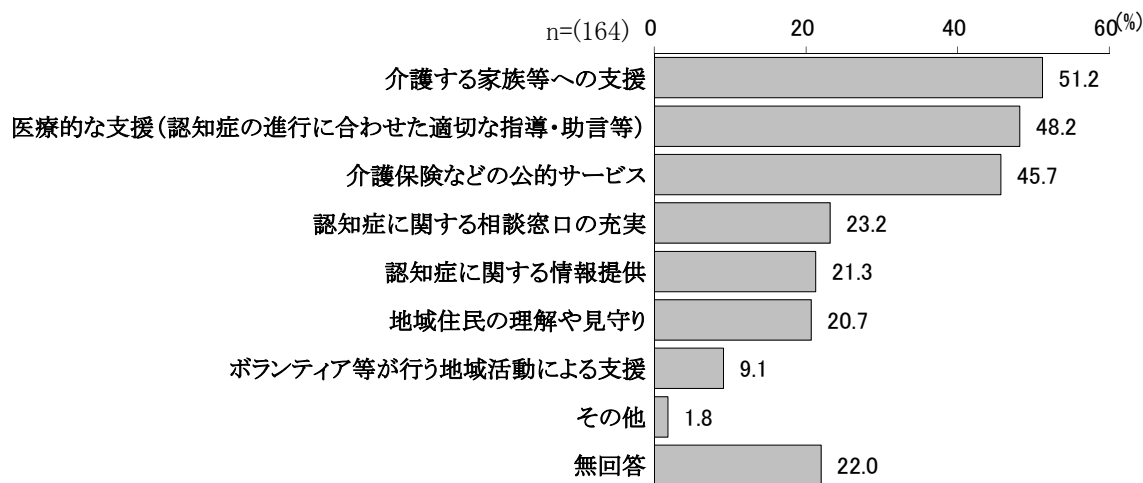


<認知症の介護で必要と思うこと>【認定者】問57-3

問 《主な介護者が介護をしている方で、認知症の症状が「ある」を選んだ方》
 認知症のご本人の介護において、必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆ **認知症の介護で必要と思うことは、《介護する家族等への支援》《医療的な支援》《介護保険などの公的サービス》の順に高い**

<図表 18> 認知症の介護で必要と思うこと（複数回答）



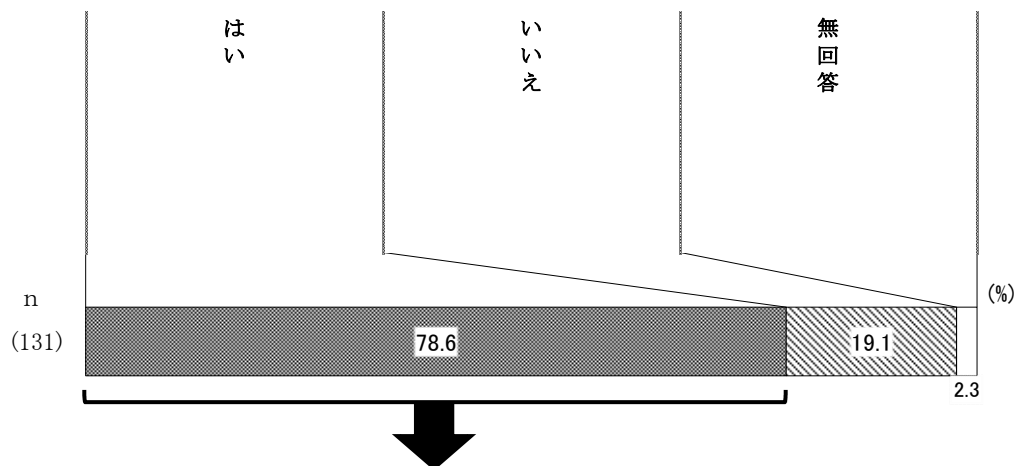
■事業所向け調査結果■

＜認知症に関して相談のできる機関の有無＞【ケアマネ】問28

問 あなたには、認知症に関して相談のできる機関がありますか。(○は1つ)

◆ 認知症に関して相談できる機関について、《ある(はい)》が78.6%

＜図表 19＞ 認知症に関して相談のできる機関の有無

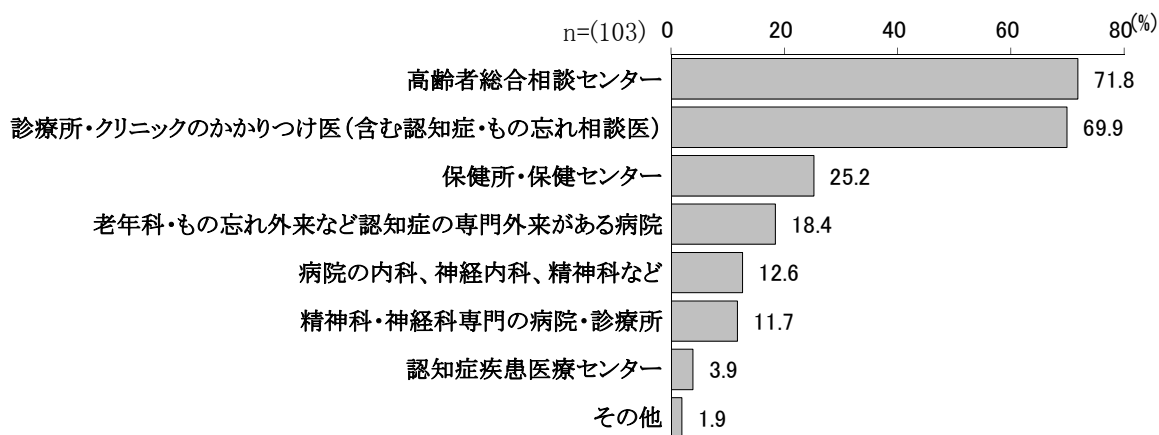


＜認知症に関する相談先＞【ケアマネ】問28-1

問 ≪認知症に関して相談のできる機関がある(「はい」)場合≫
どちらに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 認知症に関する相談先は、《高齢者総合相談センター》《診療所・クリニックのかかりつけ医》の割合が高い

＜図表 20＞ 認知症に関する相談先 (複数回答)



重点的取組③地域における在宅療養支援体制の充実

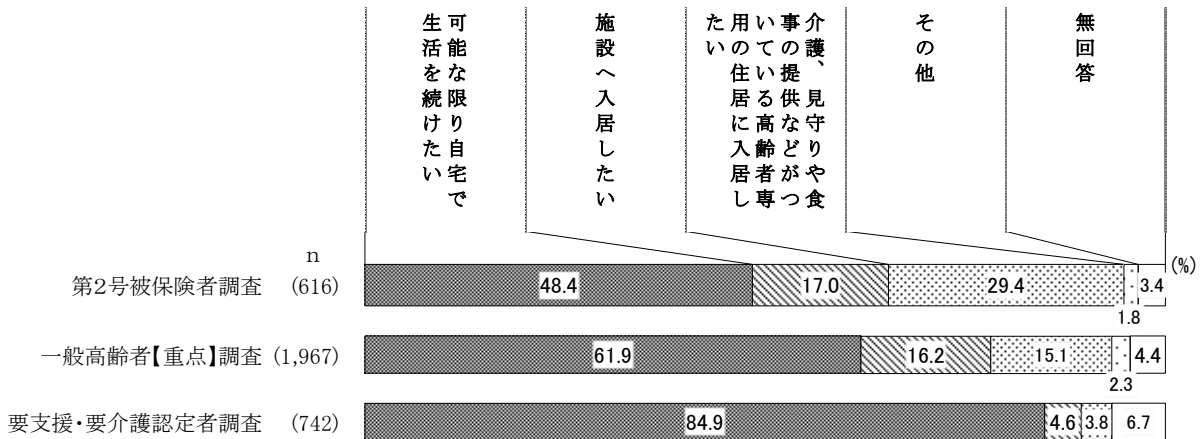
■区民向け調査結果■

＜介護が必要になった場合の生活場所＞【重点】問31、【認定者】問13、【第2号】問26

問 あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。（1つに○）

◆ **調査間比較：介護が必要になった場合の生活場所について、《可能な限り自宅で生活を続けたい》は、要支援・要介護認定者が84.9%で最も高い**

＜図表 21＞ 介護が必要になった場合の生活場所

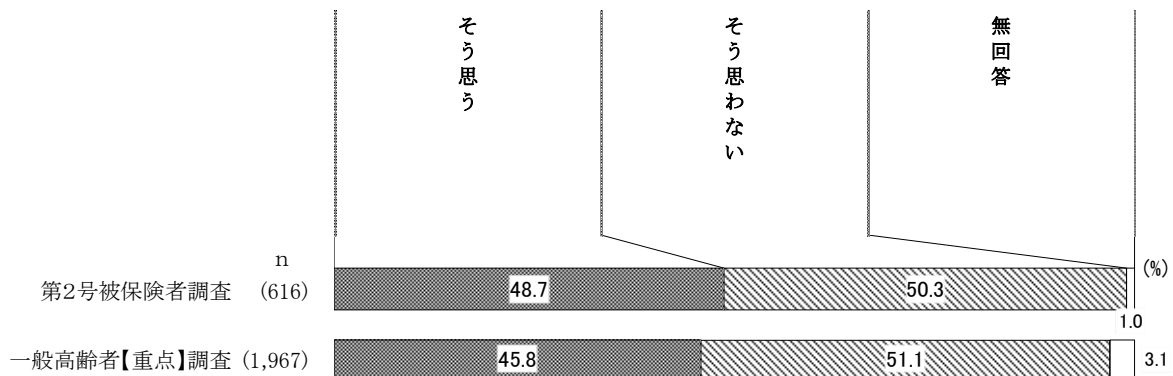


＜在宅療養の意向＞【重点】問32、【第2号】問28

問 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、理想として自宅で療養を続けたいと思いますか。（1つに○）

◆ **調査間比較：在宅療養の意向について、一般高齢者、第2号被保険者とも《そう思わない》のほうが《そう思う》を上回る状況**

＜図表 22＞ 在宅療養の意向

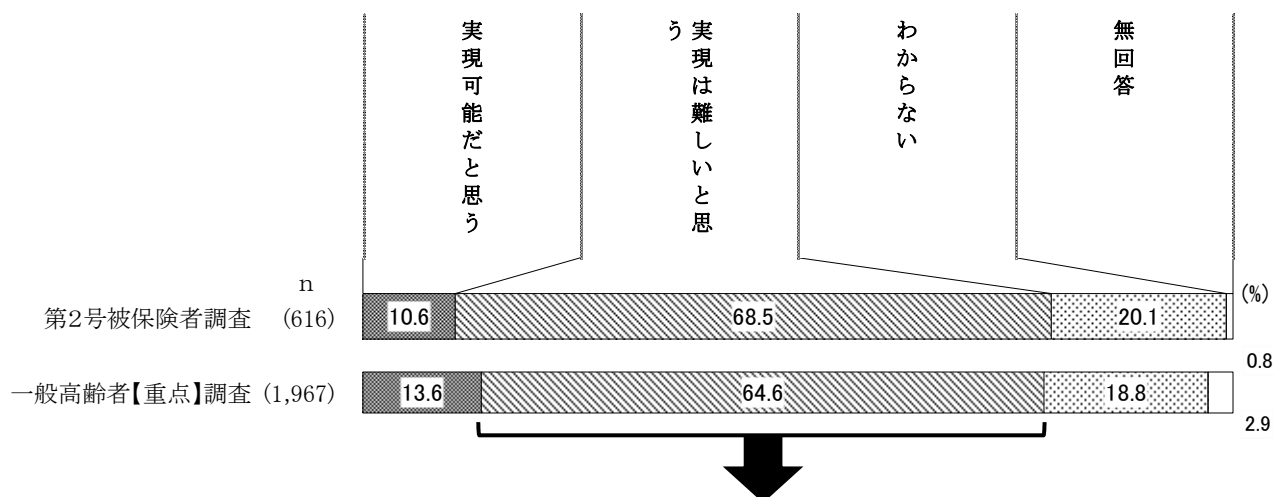


<在宅療養の可能性>【重点】問33、【第2号】問29

問 ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。(1つに○)

◆ 調査間比較：在宅療養の実現可能性について、一般高齢者、第2号被保険者とも《実現は厳しいと思う》が最も高い

<図表 23> 在宅療養の可能性

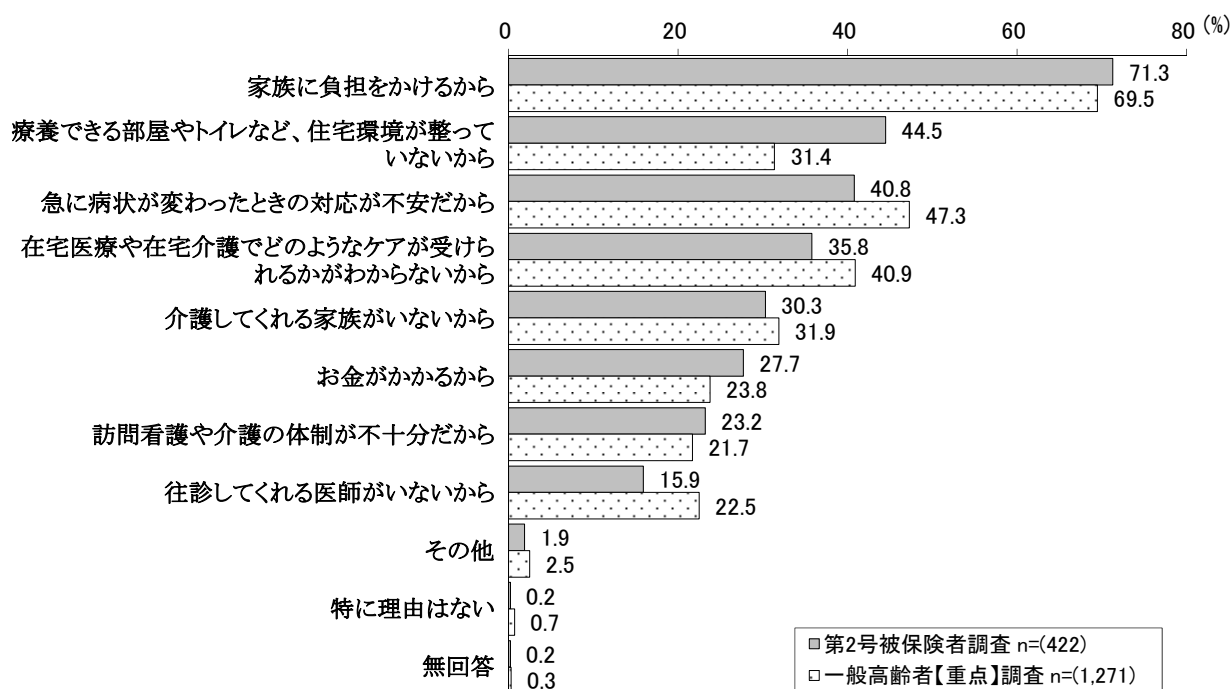


<在宅療養が難しいと思う理由>【重点】問33-1、【第2号】問29-1

問 <<上記で「実現は難しいと思う」を選んだ方のみお答えください>>
実現は難しいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 調査間比較：難しい理由について、一般高齢者、第2号被保険者とも《家族に負担をかけるから》が最も高い

<図表 24> 在宅療養が難しいと思う理由 (複数回答)

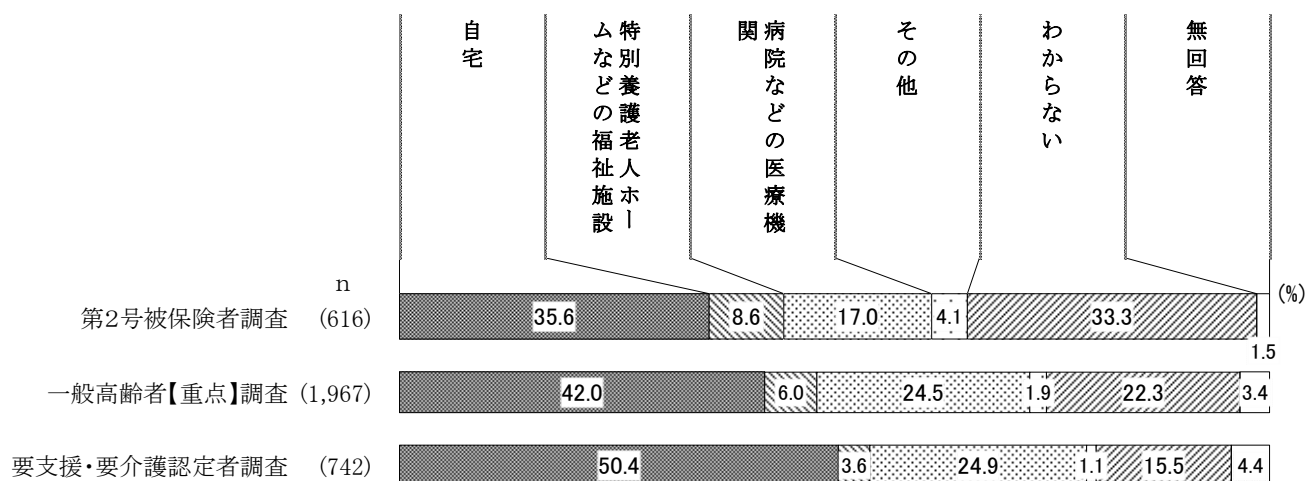


<最期を迎えたい場所> 【重点】問34、【認定者】問34、【第2号】問30

問 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

◆ 調査間比較：最期を迎えたい場所について、《自宅》は要支援・要介護認定者で最も高い

<図表 25> 最期を迎えたい場所

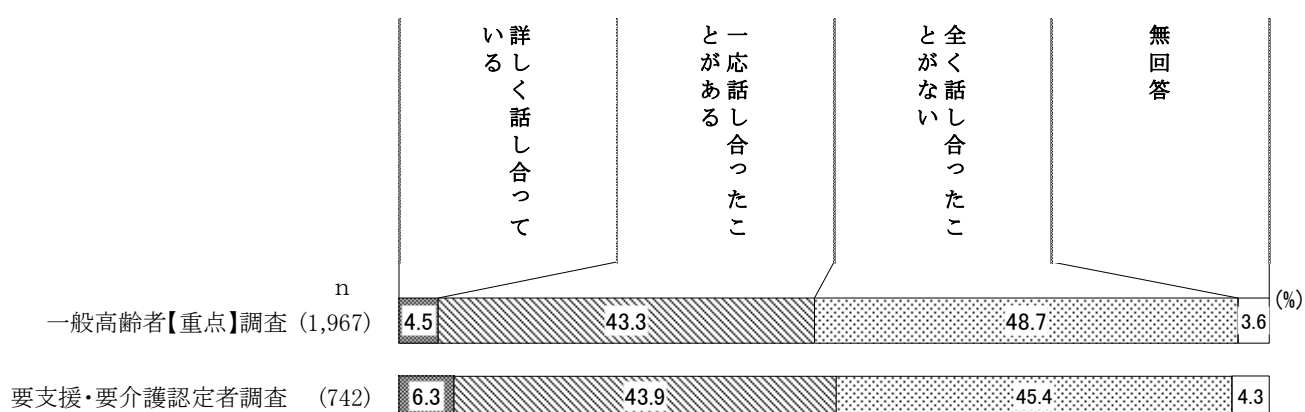


<ご家族と話し合った経験> 【重点】問35、【認定者】問35

問 あなたは、人生の最終段階において受けてみたい医療や受けてくれない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つに○)

◆ 調査間比較：人生の最終段階において受けてみたい医療や受けてくれない医療について、《全く話し合ったことがない》は重点48.7%、認定者45.4%

<図表 26> ご家族と話し合った経験



在宅医療・介護の連携について

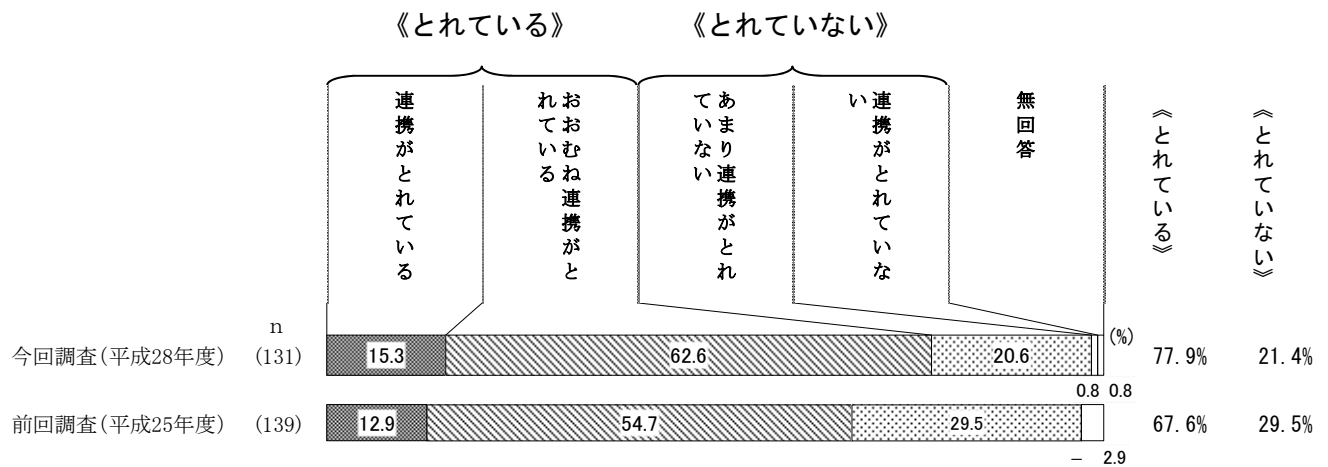
■事業所向け調査結果■

<主治医との連携状況> 【ケアマネ】問13

問 あなたはケアマネジャーとして、主治医（かかりつけ診療所・クリニック）との連携はとれていますか。（1つに○）

◆ 経年比較：「連携がとれている」（15.3%）と「おおむね連携がとれている」（62.6%）をあわせた《とれている》（77.9%）が7割台半ばを超えている。《とれている》は前回調査（平成25年度）と比べて10.3ポイント上回る状況

<図表 27> 主治医との連携状況



高齢者総合相談センターについて

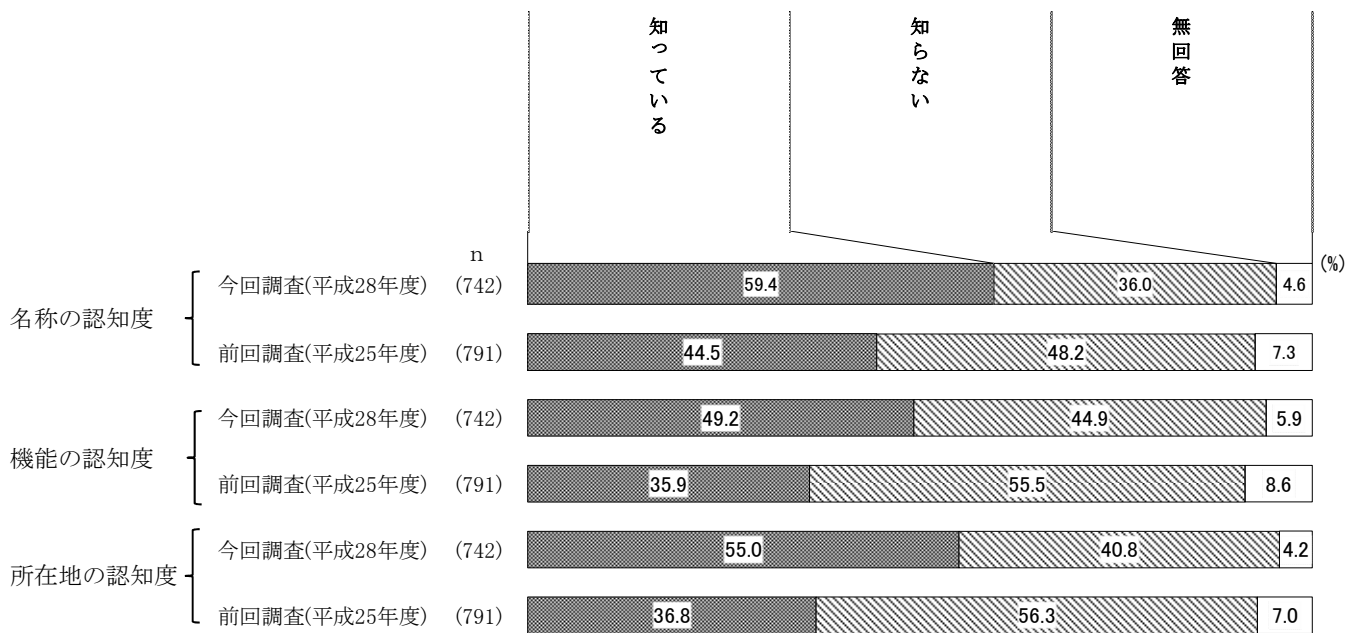
■ 区民向け調査結果 ■

<高齢者総合相談センターの認知度について> 【認定者】 問41、問42、問43

- 問 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)
 問 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)
 問 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)

◆ 経年比較：高齢者総合相談センターの所在地の認知度で《知っている》は前回調査(平成25年度)と比べて18.2ポイント上回る状況

<図表 28> 高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度について



介護者の状況について

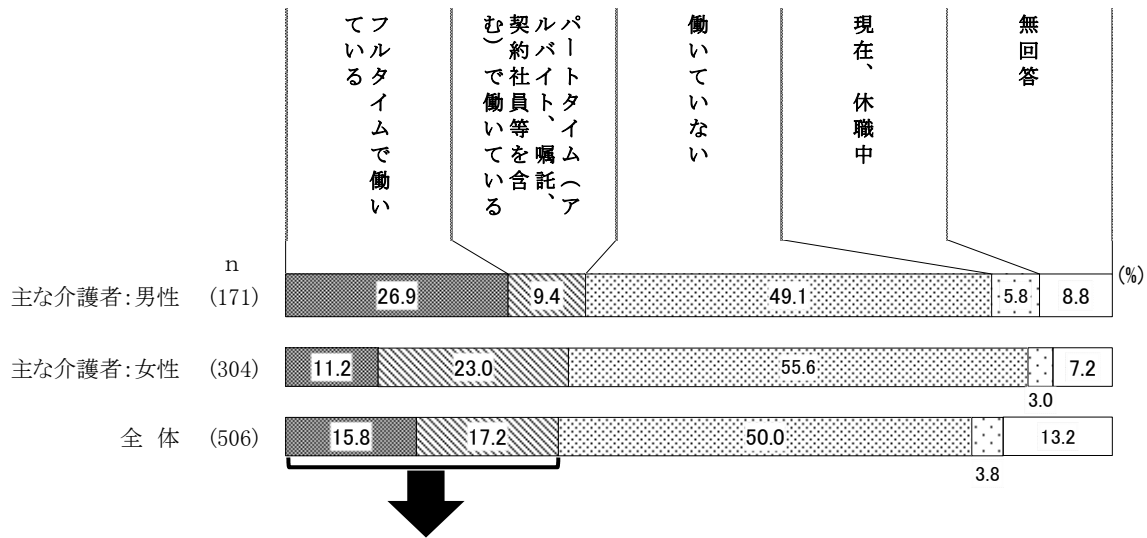
■ 区民向け調査結果 ■

<主な介護者の勤務形態> 【認定者】 問54-1

問 あなたの現在の勤務形態は、次のどれですか。(1つに○)

◆ 主な介護者の勤務形態は、《フルタイム》が15.8%、《パートタイム》が17.2%

<図表 29> 主な介護者の勤務形態

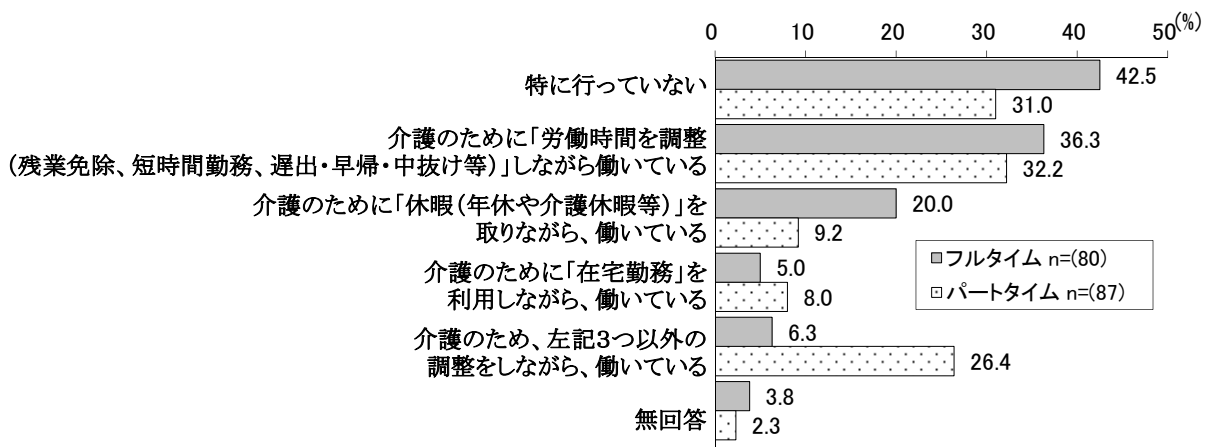


<主な介護者の働き方の調整> 【認定者】 問54-1

問 <<上記で「フルタイムで働いている」または「パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む）で働いている」を選んだ方のみお答えください>> 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 主な介護者の働き方の調整について、《休暇を取りながら働いている》はフルタイムのほうが11.8ポイント上回る状況

<図表 30> 主な介護者の働き方の調整 (複数回答)



介護人材の確保について

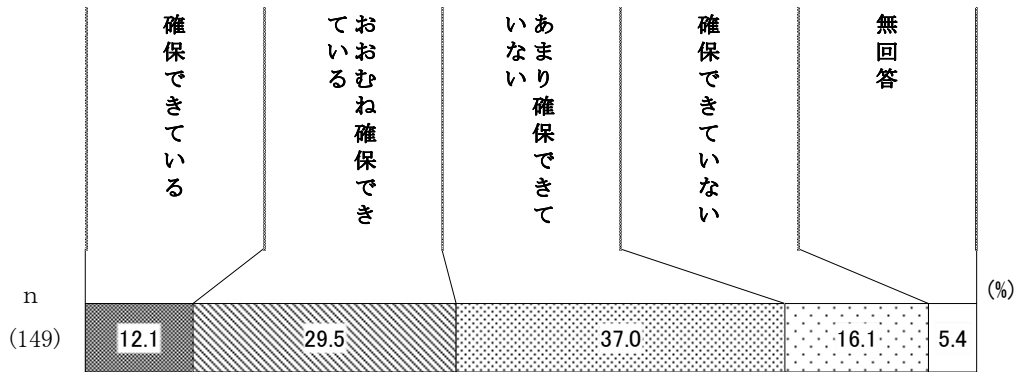
■事業所向け調査結果■

<人材の確保の状況>【事業所】問12

問 この1年間、貴事業所の人材の確保の状況はどうか。(1つに○)

◆ 人材の確保の状況は、《あまり確保できていない》が37.0%で最も高い

<図表 31> 人材の確保の状況

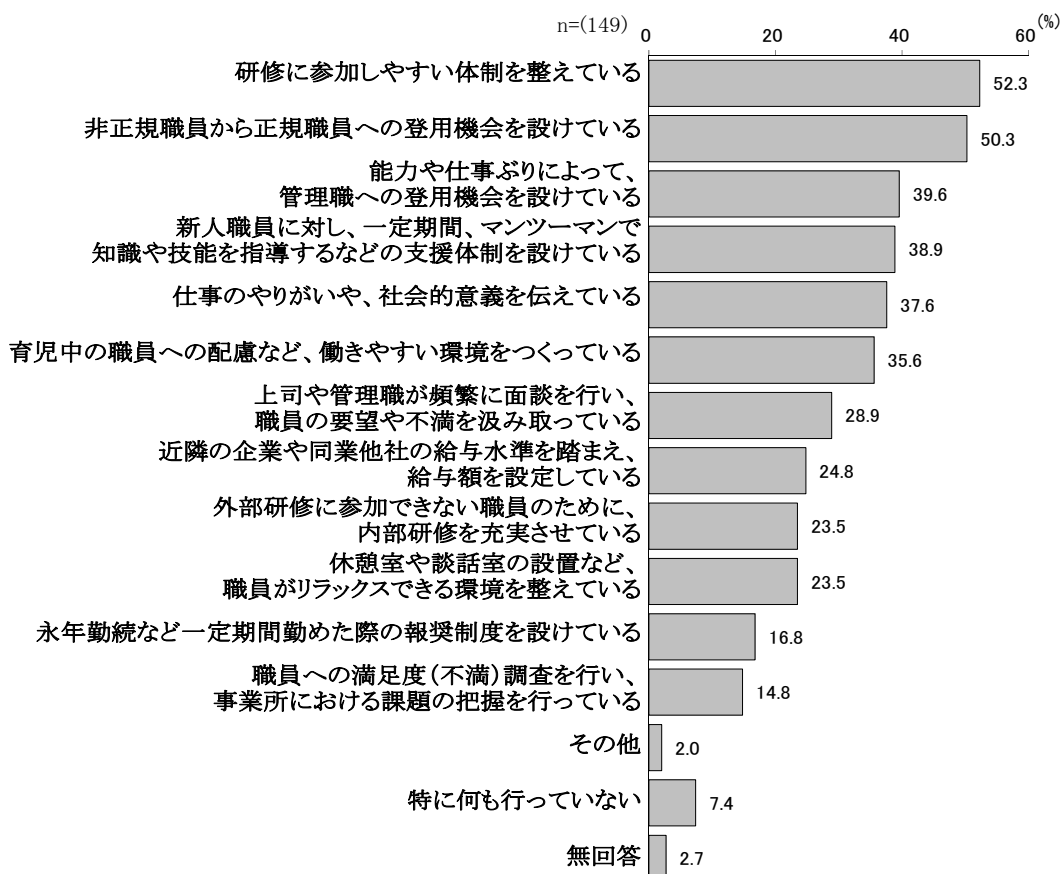


<人材の定着・育成についての取り組み>【事業所】問15

問 貴事業所では、人材の定着・育成について、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、特徴的な取り組みについて、お聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

◆ 人材の定着・育成についての取り組みは、《研修に参加しやすい体制を整えている》が52.3%で最も高い

<図表 32> 人材の定着・育成についての取り組み (複数回答)



新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査報告書 概要版

印刷物作成番号 2016-24-2912

平成29年（2017年）3月

【発行】 新宿区 福祉部地域包括ケア推進課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話：03-5273-4193（直通）

※この印刷物は、業者委託により、200部印刷製本しています。その経費として、1部あたり216円(税込)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。